愛國婦人會機關

愛國婦人

毎月十日廿五日發行

(定價)一枚金參錢一ケ月分六錢三ケ月拾八錢半年分參拾六錢壹ケ年分七拾貳錢全國無郵送料郵券代用(壹錢又は五厘切手)一割增

廣告料五號活字一行四拾錢

發行所　東京市麹町區下二番町三十七番地大日本女學會內　愛國婦人發行所

發行兼印刷人　山澤俊夫

編輯人　手島益雄

社説

婦人の裝飾に就いて

すべて男女を問はず、人には兎角其好む所に耽る癖のありがちなものであるが、婦人には殊に裝飾に耽る癖がある。固より婦人は社交の花であるから、或る程度迄は、裝飾が必要であッて、身分相應の事ならば、決して彼是申すべきではない、併しながら、適度といふとは中々むづかしきとて修養の乏しい婦人は、身分不相應即ち奢侈に陷り易いものである。三四年も前であッたかと思ふ、或る料理屋の妻女は、帶の道樂で、繻珍・繻子・緞子・錦・博多・小柳・八反・厚板・琥珀など、あらゆる帶地の種類は、何一つ缺かさぬまで揃へて持ッ居るといふ事が、新聞に出て居ッた。是等は極端な例であッて、斯樣に甚しいのは少ないであらうが、普通の婦人は大抵裝飾品に汲々として居る。隨分家政の整理に熱心で、萬事無駄のたゝぬ樣に心がける婦人でも、裝飾品だけは往々奢侈に陷ることがある、例へば、氣に入ッた縞柄とか、模樣とか、恰好とかの物を見ると、忽ち欲しくなッて、差當り必要のない物でも、つひ求める。扨好みに任せて求めた所で、交際の少ない婦人はそれを用ゐる必要が滅多にないから、一年も二年も仕立もせず、反物の儘で簞笥に仕舞ひ置く樣なとも隨分ある、斯くては第一金利も損であるし、又流行後れとなッたり、或は物に由ッては色が褪めたり、汚點が出たり、誠に無駄な事で、甚しい侈奢である。普通の婦人は同一の裝飾をして、同一の處へ度々行くのを大層耻辱の樣に心得て居るが、是れは極めて淺はかな心得である。身のまはりはどんなに立派であッても、婦人の修むべき素養が足らず、身だしなみがよくなくて、談話應答や座作進退が度にはづれ、人に對して無禮となッたり、人の笑ひを招く樣な事があッたならば、それこそ大層な耻辱であらうと思ふ。斯樣な大耻辱の虞ある所には注意せずして、徒らに外見ばかり飾るといふは、實に間違ッた事と考へる。從來婦人の裝飾が主に役者とか藝者とか下層の方から流行して來るのは、普通の婦人が徒らに外見を飾るといふ惡習慣を馴致した一つの原因であらうと思ふ。近頃此流行の源が多少變じて、上流の婦人方を模範とする傾向が生じて來たといふことである。誠に喜ぶべき現象である。何卒上流の婦人方に於て、侈奢に走らず野卑に流れず、世の模範となるべき良風を流行せしめんことに努められ、從來の弊風を一洗せられんこと、記者の切に希ふ所である。

●家庭の立憲的組織

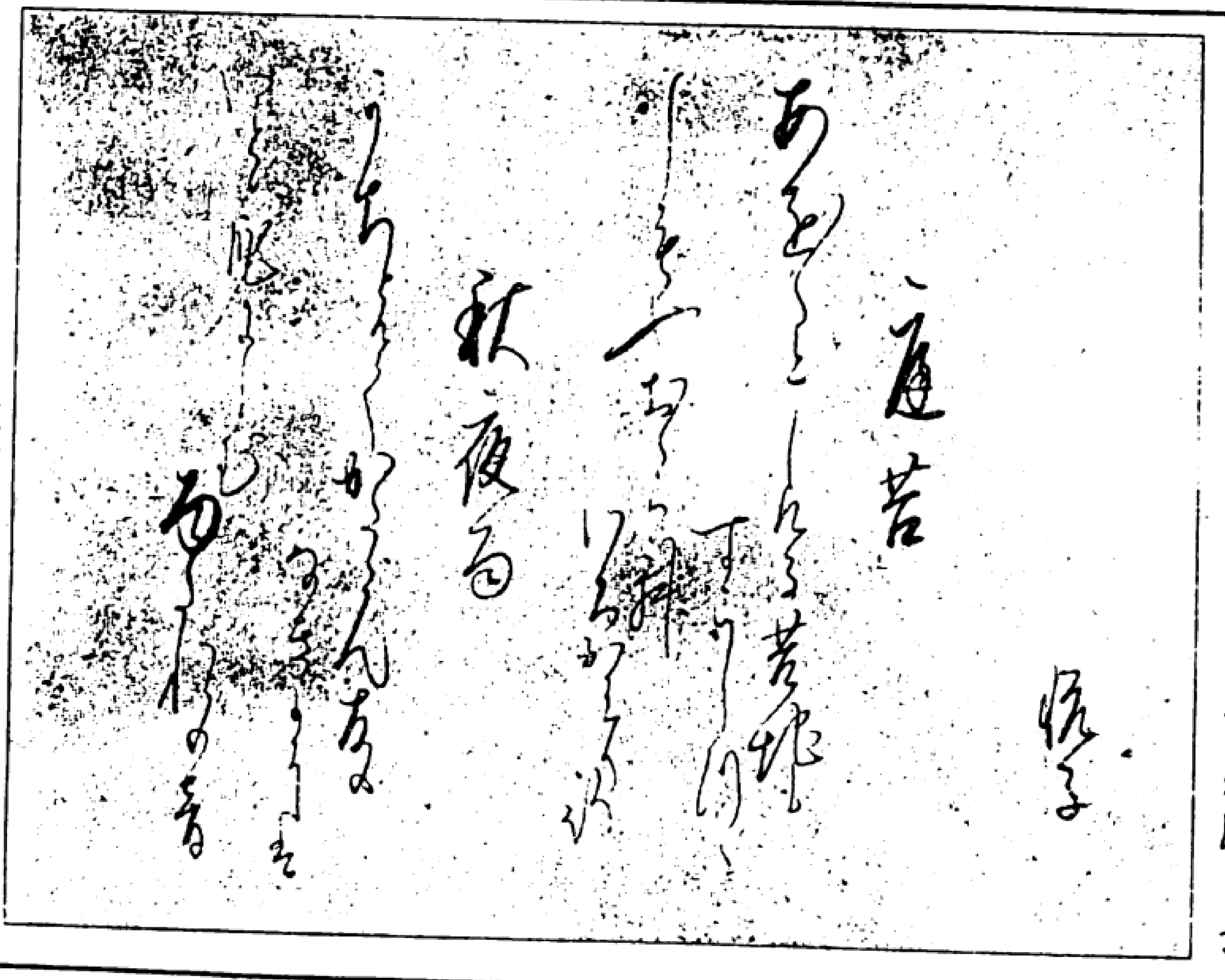
田川大吉郎

左は家庭革進演說會に於ける氏が演說の大要なり

◎日本の家庭組織　今の世は、立憲政治と申す極めて有りがたい政治の下に、吾々は棲息して居りますが、之れは唯國の政治の制度にのみ限られて、私共の家庭の內には、斯う云ふ有難い立憲の仕組は這入ッて居りませぬ。時代は立憲政治に進むも、家庭は依然として專制政治の舊態を維持して居ります。是は甚だ嘆しい事と思ひ、之を矯正して時代の思想に適應したる、立憲的の家庭を作り家庭の風儀を改良したいと思ひます。

◎主人の地位　今日の家庭に於ける主人の地位は、如何であるかと考へて見ますに、主人は絕對的の主權者でありまして、主人は我儘勝手なる事を行うて居りまして、何等の束縛がなく、規則がありません。家族は彼に對しては、恰も奴隸であります。此仕組の下に成立ッて居る家庭には、種々なる缺點を發見します、左に大略を申陳べましやう。

◎專制主義の弊害　主人の寢起の時間が、定まッて居りません。食事の時間も定まりません。之れが爲めに、家族は非常な惑迷を感じます。朝早く起きても主人の食事が出來ない爲めに、妻は只だ茫然として、空しく時間を費して居ります。寢る時間が定まらぬ爲めに、何時まで待つ事やら知れぬ事があります。又家庭の言葉でも、家族に對しては皆呼捨てであッて、無禮を究めて居ります。主人は其他の動作も我儘千萬のものであります。其家族に對しては如此勝手氣儘の振舞をしても、其家族に對しては勝手なる不行儀な事は一步も許しません。究めて嚴格であります。外國人共が、日本の家庭を見ましたらば、何んと評するでありましやうか。



理事　公爵夫人　一條悅子筆

◎主人と主婦との對照　日本の家庭に於て、主人と主婦とを對比して見ましたならば、一方は支配するところのもので、一方は支配されるものである、一方は料理せしむる所のものであッて、一方は料理する所の器械である。一方は着物を脫散らし、其他凡ての事を遣放しにする所のものであッて、一方はそれを取片付ける役目を持ッて居る器械である。一方は我儘をするもので、一方は隨順するもの、一方は傲慢であッて、一方は謙遜なものである。一方は豪い人であッて一方は無類の意氣地のないものである。一方は利口なもので、一方は馬鹿なもの、一方は鬼神の如きものであッて、一方は土塊の如きものであります。つまり双方比較になりません。

◎細君に對する注文　私は細君方に御勸め申すのは少しく內職をして、金を儲けて見て貰ひたいと思ふのであります。細君は金を使ふ役目のみを以て居て、金を儲ける事を致しませんから、金の貴いと云ふ味が知れません。金を儲けるに如何程汗が出るものかと云ふ事が知れません。少しにても自分の儲けた金を、自分で使ッて見たならば精神上非常な興味があると思ひます。次に細君自身に安價なものを買ひに往くと云ふ事であります。家に居て臺所で札を見て、八百屋や肴屋に注文する樣ではいけませぬ。西洋流に籠を携へて、野菜を買ひに往くがよからうと思ひます。次に人の着物の批評をせぬ樣に願ひたい、其次には大膽に活潑な運動をして欲しいと思ひます。

◎家庭の憲法を作れ　今日の如き暗黑なる我國の家庭を、社會から救ひ出す方法は、唯一つ、即ち家庭の憲法を作る事であります。然らば其憲法を作るの途は如何であるかと申せば、それは國家の憲法を作るのと同じ途を行けば宜い。即ち一個の約束を立つれば宜い、其約束を作ッて、父も母も妻も子も、之に對して服從する事にすれば、暗黑な家庭に煌明な光りを放つに至らうと思ひます。元來家庭は一の團躰的組織でありまして、其正常なる目的は、團躰の利益を增進するにあります。家庭團躰からして、立派に組み立ねば、一國の組織も十分に往かぬものであります。要するに日本の立憲政治をして、圓滿なる發達を得せしめんとするには、國家の單位を形ち作る家庭よりして、革進して往かねばなりませぬ。家庭の革進は、家庭の憲法を作るにあります。是れは婦人諸君の双肩にかゝる向後の重大なる問題と考へます。

社頭冬月

理事　侯爵夫人　鍋島榮子

鈴のとも絶えてこぼれるみたらしの
上にさえたるふゆの夜の月

電話番町壹千三百三十番

◎本號附錄には鹿兒島支部副幹事長島津鶴子幹事坂本梅野子同永田きて子の肖像を掲く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論說

◎公德養成に就て

伯爵　大隈重信

左の一篇は此程公德養成會に於て伯爵のものせられたる演說の大要なり

◉愛する我園庭　私は最も園藝を愛し、最も園庭を好み、殆んど此園庭は私の生命の如く愛するのである。而して此園庭は私のみか觀るのではない。菊花の咲く間に少くも平均三萬人程の來觀者がある。故に殆ど此園庭は公の爲めに開かれた觀を呈して居る。私は私一個の樂みのみならず、出來能ふ丈け多數の御方に樂みを分つ事が必要なりと信じて居る。又將來に於て、此大學が發達するに付ては、此園庭は私の私有に非ずして、大學の占領する所となるかも知れぬと、心得て居る。それは、私が公に對する義務である、若し此園庭が大學の爲め國家の爲め、用を爲すことになッたら、此園庭を公の手に渡すことを、私は少しも躊躇しない。是は公に對しての德義の一てあると思ッて居る。

◉權利本位と義務本位　日本には從來公に對する義務、即ち忠義と云ふものがあッた、此外に公に對する働きは多くなかッた。又教育の目的が國民服從の義務と云ふことに重きを價き、義務の外に權利と云ふものは大禁物であッて、少しにても權利を主張するものがあると、謀叛人を以て目せられ、嚴刑に處せられた程である、併し一躰人民には、權利と云ふことが土臺でなくてはならぬ、貨幣の問題に復本位、單本位と云ふことがあるが、日本の道德上にも、御一新前は服從本位、義務本位であッたが、今日はそれが權利本位に移り變ッて來る樣になッた。所が、單に權利の本位と云へば、少しく語弊があるかも知れぬ、私の主義を以て察するに、國家の上には、兩本位が必要である。即ち權利義務の兩本位又道德の上には、私德と公德の兩本位が必要であると思ふ。

◉公德の要素　公德と私德の區別は六ケ敷い事であるが、近來公德養成と云ふ事について、公園て木を折るなどか、醉ふて往來を歩くなとか、勿論人間の形、即ち威儀を正すと云ふ事に注意し、公の物たると、私有に屬するものとを問はず、之を暴らす事はよくない、慎まねばならぬが、一層其根源に溯ッて公德の必要なることがある。公德の最も大なるものは、國家に對する義務と社會公衆に對する義務と云ふものである。例へば東京市と云ふ如き日本全國の中心たり、模範たる所に於ては、市町村制を以て與へられたる所の、大なる權利がある、然るに此權利を放棄する人があッたならば、これは甚だ不道德なることである。此權利を適當に用ゐ、而して公共の爲めに義務を盡すと云ふことは其權利に必ず附隨して居る重大なる責任である。

◉東京市民の弊害　今日公の機關たる市會とか、區會とか云ふものが、眞に市の公共の利益を代表して居るか否やと云ふに、遺憾ながら否と云はねばならぬ。然るに市民は斯の如く自己の權利を放棄して居りながら、何か不都合な事があると、非常に不平を唱へる。百五十萬の利害に關する大問題がある毎に、いつも過ぎ去ッた後からのみ騒く、恰も强盗が隣家に入ッたと聞いても、其時には騒がないで、逃げて仕舞た跡で騒ぐと同樣である。是が東京市民の弊である。甚だしきは、五年も十年も住んで居る、隣痾の人の顔も知らぬものがあり、是等の人と途中で逢ッても、挨拶せぬ等の弊がある。此弊を救はなければ、市の公共の利益も捗らず、市民の繁榮を得ることも、中々覺束ないと思ふ。

◉市民の模範　政治の中心文學技藝美術等總て一國の中心たる所の大都府が、所謂道德に於ても中心、即ち本源の地とならなければならぬ。して見れば市町村制度を最も完全に、又最も有効に之を利用して、公共の利益を捗らすと云ふことも、全國の模範とならねばならぬ。斯の如き大都府でありながら、遺憾にも市民は公德の點に於て、他の市町に對し遜色あり、畢竟公德の念か薄いからてある。之は慣習に依り知らずしらず、此弊に陷ッたものてある。併し此弊は速に一掃しなければならぬ。東京市民は眞正なる大都府の市民として、世界に對し市民の模範とならなければならぬのである。

◉國民の勃興は公德にあり　歐羅巴人の諺にも「羅馬の都は一夜にして出來たものでない」と、云ふことがある、即ち一國の盛になることは突然一夜に盛になるものでない。日本は日清戰爭に勝ッて盛になッたと云ふが、さうでない。日清戰爭に勝つべき日本臣民の德性が、勇氣に伴ッたからである。所謂愛國心が伴ッて居たからである。今や日本は黒雲を以て蔽はれ恐るべき電光を發し、恐るべき大なる響を以て吾々の皷膜を震動せむとする光景が、將に起らむとする所である。此時に當ッて國民の勃興心は何から起るかと云へば、即ち公德である、人は目前に雷が鳴れば、始めて驚くのである、所が將に鳴んとする所の有樣は、此社會の上も、黒雲を以て蔽はれて居るを見ても知れる今日憲法の下に立ち、自治制の下に働く所の國民が、自分の權利を放棄し、公德を重ぜぬと云ふ有樣が、到る處に起ッて居る。乃ち之を一掃するのが國民の義務否權利であると思ふ。

◎臺灣の風俗

臺灣總督府事務官　法學士　手島兵次郎

左の一篇は臺灣風俗についてものされたる談話の內婦人に關して興味あるものを書き綴りたるものなり

◉結婚　臺灣て風俗上異樣に感ずる事柄の一は、土人の結婚方法てあります。此結婚が總ての事柄の基となッて來るのであります。御承知の通り、世界の結婚の發達の順序は、第一に共同婚、第二奪掠婚、第三賣買婚、第四贈與婚、第五共諾婚等の順序がありますが、臺灣では、第三の賣買婚が行はれて居りまして、自分の妻を金て買ふのであります。其金が中々高價でありますから、容易に妻を求める事が出來ません故に土人が金錢を大切にし、金錢を得る爲めには、如何なる勤勞をもいとはぬのは、要するに善き妻を買ひ求めんとの、觀念より起りて居りますから、臺灣では、此結婚と云ふ事柄が、非常に大切なる事になッて居ります。

◉婦人の權力　金て買はれた處の妻でありますから、一寸考へると、婦人は何等の權力がない樣に思はれますが、中々そふでない。一家に於ける妻の權力は非常なもので、町を通行して居ッても、屢々妻が其夫を叱り飛ばす聲を聞く事があります。何故に妻が權力があるかと云ふに、一生の勤勞に由り得た大金を出して買ふた妻でありますから、妻が怒ッて歸ッて仕舞た日には、大變であッて、再び金を調へて買求めねばなりませんから。夫は妻を大切にして、妻の機嫌を損せぬ事を勉めて居りますから、自然に妻の權力が强くなッたのであります。

◉婦人の動作　臺灣の婦人は、多く纏足であッて、此制度は容易に改良が出來兼て居りますが、纏足でも善く歩行します。山でも阪でも、兩手を振ッて身の平均を取ッて、歩行しますから、思ッた程の不自由はありません。婦人の行儀の內で美しい處は朝早く起きて、夫の起きぬ內に髮を奇麗に調へ、香氣ある草木の花をさして、仕事に取りかゝります。婦人の仕事の大なる役目は、衣服の洗濯であります。毎日〱衣服は洗濯を致します、それは何故かと云ふに、土人は風呂に入る事が嫌いてありまして、容易に風呂に入りません、其代り、常に洗ひだちの衣服を着る事となッて居るからであります。髮を奇麗にするのと、衣服の淸潔を勤める事は、日本婦人は中々及びません。時々臺灣の土人から、日本婦人は臭氣があると申さる、事があります　夏の熱い時に下等の女共が、油を塗ッて髮を結び、汗の付いた衣服を着て群衆に交ると、土人の方から排斥を受ける程であります。

◉土人の嗜好　土人は餘り酒を飲みません、之れは臺灣の特色であります。祭禮なぞでも酒に醉ふて巡査の世話になる樣なものはありません。それてありますから、集會なり儀式なりが、靜肅に行はれます。饗應の席でも酒は盛んに用ゐません、只土人の最も好む處は食物であります。評せば食道樂の方て、食事の美しいのを、人に見せて自慢すると云ふ風習であります。御祭り等の節は、家一杯に山海の珍味を並べて通行人にも之を見せて其饗應の立派な事を示す程であります。

愛國婦人附錄の肖像を見て

大阪　金田つるゑ子

老たるもわかきも共に手をとりて
一つ心につくせ御國に

嘉納須磨子夫人の富士登山の話をよみて

京都　渡邊豊子

御國なる山の司のいたゝきに
月をめてにし人そゆかしき

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家庭佳話

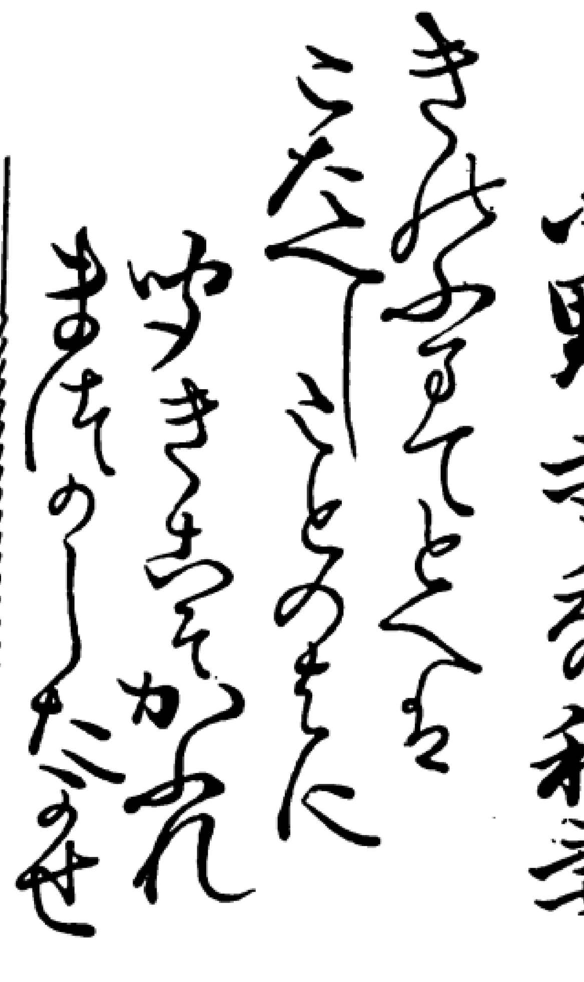
佛國感化院

此編は「歐米家庭教育佳話」の內より著者の許しを得て轉載したるものなり

佛國のピチバルグ殖民地に、有志の義捐にて支へらるゝ感化院あり。親無く家無く、巴里の街頭を徘徊して、惡事を行へる不良の少年は、悉く此處に收容せらるゝなり。兒童は、毎日戸內又戸外の勞働に服せしめらるれど、又一定の遊樂の時間もあり。或時九歳計りなる一人の惡少年、他の感化院をも放逐せられ、到處の良民を煩はしたる末、終に此の院に入れられしが、始めの內は萬物新しかりしが爲か、割合に溫和なりしも、間もなく其の本性を現はして、他の同じ齢の少年と喧嘩して、ナイフもて其胸部を刺したり。幸に急處をはずれたれど、こは珍らかなる重き罪科なり。即ち院の內規として、直に全院少年會議は召集せられ、茲に其處分法は協議せられぬ。孰れも直樣放逐すべきことを發議せしも、院の幹事は、「かくては、最早悔改の折なくて、刑場の露と消えんは必定なり」とて、再考を求めければ、終に無期禁錮を宣告したり。此の院の風として、斯る宣告を受くる者ある時は、院の幹事は一同に向ひ、誰れか之に同情を表して、其罰を引受くる者なきやと問ひ、若し同情者ありて之に代り刑に服せんには、罪人は其刑期間パンや水などを之に運びて、門衛の役を勤むる定期なりけり。されど此時も幹事は立ちて其身代りを募りたれど、誰れとて應ずる者もなく、夫の惡少年は、すご〳〵獄に送られき。さるに數日の後、幹事は再び一同に向ひ、「夫の惡少年に代る者なきや」と尋ねたれば、想の外に「私が代りませう」といふ愛らしき聲ありけり。一同不審の眉を顰めながら、聲する方を眺むれば、何ぞ圖らむ、こはこれ夫の胸を刺されて、僅に病院を退きたりし少年ならんとは。かくて此少年は恨を忘れて敵の爲に、快く其刑に就きしかば、惡少年は院規により、之に食物を運びなどせしに、行く度毎に良心は打たれぬ。暗さは暗く、窮屈にはあり、樂みとては露ほどもなく、而かも己が加へたる重傷の爲か色尚青くして弱〳〵しげなり。嗚呼是れ皆己のが不心得より出來したるか、殊に彼れは己のれ傷を負ひながら、傷負はしたる己のれが爲に此の罰を受くるもの。己のれは此く樂々と暮らさるべきかと、一たび良心の光の、胸の裡に輝き初めしや、身も世もあらず悶へ苦しみ、直に幹事の許に馳けゆき、伏し倒れ泣き叫びて、己のが罪條を白狀し、夫より全く悔改めて不良少年は、瞬く間に良少年と化したりき。嗚呼愛の力は大なる哉。

◎將軍の經歷

米國の軍人とし、天文家として有名なるミッチェル將軍一八一〇—一八六三は、或時新聞賣りの子供の集會に臨み、「小兒よ、余が諸子を見る時、己れも諸子の一人なる心地す。恐らくは諸子の內貧しくして友無きことに於て、少時の余に及ぶ者なけん。余は貧しき事に就ては知らざることなし」と語り出づれば、幾百の貧しき家なき腕白連は、疑はん許りに驚きて、見上ぐる顔を、將軍は打ち見やり、再び



評議員高木鍜子筆

語を繼て曰く「十二歳許りの時、一週二十五錢の賃錢にて、或る老婦人に使はれしが、婦人は烈しく余を使ふて、少しも休ます時なく、或は木を割り、或はミルクを搾り、又水を運び、火を起し、皿を洗ひ箒を取る等目もまはさん許りにて、着物は著しく破れ、靴も買ふ金なきが爲、裸足の儘にて奔走したり。或朝早く起き出て、大急ぎに其日の仕事を爲し終りしに、女主人は「今日は何故怠惰くるや」と詰じれるを、已に「悉皆なし終れり」と答ふるに「食言奴が」と怒鳴りしかば、余は憤怒の情制し難く、女主人に其働きの結果を示し、以後復た斯る醜き語を發すべからざることを話し、フイと其家を飛び出でしが、さて衣嚢には一文も無し、如何にせんかと考へて、偶々數疋の馬に車を引かせて、通り掛れる者あるを見、「何か働かせて助けずや」と賴めど「御前は役に立ちそうてなし」と冷かに語れるを、「否、馬に行水させ馬に水飲せることは愚か、唯やらして見られんには、何事をも爲すべし」といひければ、今度は無下に斷りもせず、伴隨て來れといひたりしが、其路の遠きが上に泥深く、いと困難を極めたり。されど其家に着しては、己のが性質と手腕を表はす機を得しをもて、次第〳〵に出世したり。嗚呼持つべきは獨立自治の精神と、正直確固の性質なり。此の二つの者あらんには、天は必ず我等が爲に好運の道を開かん。諸子よ、貧として友なしとて、決して恐れ給ふなよ。唯恐るべきは天のみ、神のみ。神を恐れて前進せんには、其目的を達すること疑なし。元氣を出して正直に前進せられよ」。

童話

鳩

嚴谷小波閲　高階柳隆譯

「エンメルリヒ」と「レオポルド」とは隣同志で、交情のいゝ友達でありました。エンメルリヒの家は富んでゐるので、美しい鳩を澤山に飼つてをりました。レオポルドも鳩は大好ですが、彼の家は貧しいので、いゝ鳩なぞは無論のこと、普通の鳩を二三羽やつと買つて貰つて、それを大切に飼つて同じく樂んでをりました。ある日のこと、エンメルリヒの處の一番美しい鳩が一番飛んで來て、レオポルドの鳩舍に入つて巢につきかけました。レオポルドはこれを見て思ひますには、「やあ、お隣家の鳩が來た。美しい良い鳩だ、全身は雪のやうに白くつて、尾と肩のところが墨のやうに黑い。これがお隣でも一番いゝ鳩なのだ。あゝ慾しいなあ、これが自分のものならいゝがなあ。いッそ捉へて籠で飼つてやらうか。……イヽヤ、そんな惡いことは出來ない。あれはお隣の鳩だ。捉へて持つて行つて返して來よう」。とレオポルドはその鳩を捉へて、お隣へ返しに行きました。エンメルリヒは大さう喜んで厚く禮をのべました。少時するとこの鳩が卵を生みましたから、エンメルリヒはそれを持つてレオポルドの鳩舍に行つて、そッとその中にあつた普通の鳩の卵と取り替えてまゐりました。レオポルドは少しも知らずにゐましたが、幾日か經過つて卵がかへりますと、肩と尾の黑い全身雪のやうな鳩が出來ました。レオポルドは喜のあまり吃驚してエンメルリヒの處へまゐりまして、この由を申しますと、エンメルリヒは笑ひながら、自分がそつと卵を取り換たこと、それはレオポルドの正直に感じて、お禮にしたことを談しました。て仕舞に、「愛らしきレオポルドよ、何時もかのやうに正直であれ、何故なればかう云ふ言がある。──最も大なる幸福は、決して不正をなさぬ者の頭に宿る──」と申しました。

カナリヤ鳥

「クリスチネ」と云ふ少女がある時お母樣に、「お母さん何うか私にカナリヤを一羽買つて下さい」とお願い申しました。お母樣は、「ハア〳〵よろしいとも、お前が從順に溫和く勉强したなら、必然買つて上げます。併し不勉强であつたり惡戲をしたりしたら、買つて上げませんよ」と堅くお約束が出來ました。ある日のことでありました、クリスチネは學校から歸つてまゐりますと、お母樣は、「コレ、こゝに新しい箱がありますから、私が來るまで、これに觸つてはいけませんよ、私の云ふ事をきけば必然いゝ御褒賞を上げます」と云いまして母親は、何か御用がありますかお隣家へ入らつしやいました。お母さまのお姿が見へなくなるが早いか、クリスチネはかの箱を手に取りまして、「大さう輕い、何だらう、オヤッ、こんな處に少いさな穴がある、何が入つてゐるんだらう」と切りに考へてをりましたが、分りませんでしたから、「一寸中を見たつていゝだらう」。と箱の蓋をとりますと、中から一羽の可愛らしい小禽が飛び出しました。「オヤッ、禽が」と驚いて見ますと、黃色い美しい色のカナリヤでした。チヽと啼きながら部屋の內を飛んでをりまして。なか〳〵捉りません、大騷をしてをりました。ところへ母親は歸つて來てこの有樣を見まして、「そら御覽なさい、またクリスチネの惡戲がはじまりました。何うして私の云ふことを聞かないのです。このカナリヤも此間のお約束で、お前にあげやうと思つてゐたのですが、もうこの通りお母さんの云ふ事をきかず、從順にしないのですから、これはお前にはあげません。お家隣のフランフさんにあげます。あの兒はお前とちがつて從順ですから」。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎家政要領

家事衛生　勤靜

●理髪● 頭髪は大切なる頭腦を保護する爲なれば密にして長く發生せるなり而して毛根には脂腺ありて脂肪を分泌し常に毛髪を潤して其の擦折を防げり、然れ共婦人の毛髪は甚だ長ければ毛根の脂肪のみを以て柔軟艶麗の美質を保つ能はず依て人工の油を用ゐて之を補ひ其光澤と柔靭とを保たしむ是れ頭髪は婦人の大切なる裝飾なればなりされば油は頭髪の爲にも宜しきとなれども唯塵埃中に勞働する者に在ては毛髪中に塵埃の積もると頭の汗に由つて髪中の油分解し惡しき臭を發す之を放置して一層其不潔を增す時は毛虱を生ず頭髪の臭氣を除かんが爲に香油を用ゐるは唯一時臭氣を蔽ふのみにて清潔ならしむる効なし必ず時々之を洗はざるべからず之を洗ふに曹達を用ゐれは最も良く不潔を去り得べきも毛髪を潤せる脂肪までも除くが故に毛髪粗剛となるべしされば玉子、石鹸、洗粉などを用ゐるを衛生法に適へりとす髪を結ぶに根を緊束し髪の根に付きたる木片など頭皮を刺戟するものを使用するは宜しからず又頭髪に毛虱の生じたる時は虱の卵まで一々拔き去らざれば絶えざるは勿論なるが蕃殖甚しきに至りては止むを得ず殺蟲劑を用ゐざるべからず然るに此藥は大抵水銀製劑なれば一夜たりとも之を頭につけ置くは危害なき能はず故に小兒に生じたる時は必ず心長く親虫と卵とを一つゞゝ除き去りて後に清潔に洗ふべし

●爪● 爪を長くする時は折れ又ははがるゝ虞あるのみならず爪垢溜りて不潔なり衛生家の試驗によれば爪垢の中には黴菌の發生甚多しされば俗に爪にて腫物を掻く時は腫物が咎むるといふは爪が腫物に毒なるには非ずして爪垢中の黴菌が害をなすに在り若し爪垢ある不潔の指にて創傷などの創口に觸るゝ時は往々膿潰又は破傷風を生ずるとあり故に爪は常に短く剪り石鹸をつけ毛掃を用ゐて能く洗ひ十分清潔にすべし殊に婦人は時ありて小兒の口中に指を入るゝともあれば一層之に注意せざるべからず

●鐵漿● 鐵漿につきては從來種々說ありて其利を唱ふる者もあれど之を用ゐる者は其剝脱を恐るゝが故に齒の掃除十分ならずして却て不潔を招き且又染めしものを剝ぎて再び染めんとするには强き酸類などを用ゐる必要あるを以て徒に口中を刺戟し齒質の爲に最も害ありとす幸に近來之を用ゐる人の次第に減少するは喜ぶべきとなり

●紅● 紅白粉をつくるは頭髪に油をつくるが如く必要あるには非ずされども衛生上害なき樣に注意してつくれば之を用ゐるも妨げなしさて紅は紅花より製するものにて食物の調理用にも使ふとなれば之を用ゐるも素より害なし但し價廉き贋造品あり是れとても大害はなけれど本紅の安全なるには如かず

◎總菜日記 (寄稿を募る)

廣島　會員　某　報知

當地は東京と異なりまして、物價か安くありますから、東京と比へますと餘程御馳走が出來ます、左は御飯なしにて一日平均十五錢の割りには、之を一週間に按料つて、調理したものであります、表中當地特種の料理をも用ゐて居ります。

	朝	晝	夜
月曜	小皿 煮豆 香物 淺漬	鰡のせわりやき (但六寸位) 香物 同上	酢蝦 中皿一ツ 豆腐汁 (かつをだし)
火曜	小皿 牛蒡煮〆 香物 ひらぐき	めばるいりつけ れきのあしらい 香物 同上	酢芋 さよりのみ入り 蓮根 うまに
水曜	小皿 高屋豆腐 香物 たくわん	穴子の蒲燒 香物 同上	汁に玉子麩入り 大根なま酢 鯛身入り
木曜	小皿 里芋 香物 糠みづな漬	ちぬいりつけ 香物 同上	豆腐に蝦汁 なまこ酢づけ
金曜	小皿 菠薐草のしたし 香物 茄子のからし漬	鯛のやきもの 香物 糠漬大根	ちり身は鯒 おろし大根
土曜	小皿 金山寺味噌 香物 ひらくぎ	鳥肉 せりのあしらい 香物 たくわん	蛤汁 柚大根
日曜	小皿 しんぎくのしたし 香物 奈良漬	牛肉 たまねぎ 香物 あさづけ	はまちさしみ あづまずし 羹なます

伊勢國　會員　某　報知

記者の寄挨になる總菜日記は、近頃面白く拜見致しました、私も一周間分料理致しました處を、書きつけまして御手許まで送ります、私のは一日平均十二錢の割りであります。但し御飯は除きての計算であります。

	朝	晝	夜
月曜	味噌汁 み、小かぶ 香の物 大根たくあん漬	ぶりてり燒 淺づけ大根	ふろふき大根 たくあん
火曜	味噌汁 さいの目豆腐きざみ菜 香の物 たくあん	かもねぎなべ 淺づけ	うす鹽サンマ 大根大阪づけ
水曜	味噌汁 み、大根千六本切 香の物 たくあん	かぶあんかけ 煮豆 たくあん	いわし酢ぬた れぎ唐からしやくみ 淺づけ
木曜	味噌汁 み、かぶ 香の物 たくあん	ぼら煮付 大根あしらひ 淺づけ	豆腐 入はい汁淺草のり 淺づけ
金曜	蛤むきみ 味噌汁 み、れきうの花 香の物 淺づけ	牛肉カレイ 大根大阪づけ	ひしこ 薄醤油酢いり 淺づけ
土曜	味噌汁 み、大こんいてふ切 香の物 たくあん	ひらめさし身 山葵大根おろし 大根味噌づけ	大根あつ切 入つ頭芋油あげ 熱實 淺づけ大根
日曜	味噌汁 み、とうふ 香の物 たくあん	いわし (しんじよ) れぎ南蠻煮 大根大阪づけ	燒豆腐 かつを煮 淺つけ大根

◎各地特種の料理 (寄稿を募る)

(六七) 蟹まき　宮崎縣南那珂郡北郷村　紳田房子報

私は九年前當地方(舊飫肥藩内)へ來まして、主人官務の都合にて引續き寄留しております。其間に人樣から蟹の料理方を教はりまして、毎年試みて見ますに、大層宜い樣に考へます。然し都の姉上方には、げすらしいと思召しませうが、當地方では大層賞美致しますから、御參考にお知らせ致します。

私の申します蟹は谷川に生ずるもので、中國邊ではもがに、日向地方では山太郎蟹と申します。其蟹を生きた儘(死後は虫類發生し易し)甲を離して、七個位を石臼に入れ、微塵に搗砕き、然る後皿一杯位の味噌を入れて、(味噌の分量は凡そ此目安にて蟹の多少により斟酌すべし)復た少し搗き、目の細き笊に入れ、二升炊きの鍋一杯になる樣、水にて漉し取り、之を煮上げますと、丁度豆腐を拵へます時にニガリを加へて、まだ箱に入れない時の塊の樣で、色は豆腐の樣に白くはありませぬが、味噌と肉とが一緒に固まりますから、汁はすまし汁の樣であります。又最初煮ます時に、鷄卵四五個をときまぜますと、其固まり方が餘程宜しく、味も一層美しう在います。食べます時には香味ある野菜或は山椒などを加味すれば大層よろしく、齒のない人には格別適當した料理と思ひます。右の料理方は當地方ではかにまきと申しまして、毎年陰暦七月中旬頃から八月末頃までに、澤山蟹の捕れる時に致す料理であります。

(六八) がぜつ　尾道市會員無花香女報

先づ菠薐草と少さひ蓮根とをゆで置きまして、別に穴子を砂糖醤油にて付燒きにし、三分位に切り酢と醤油とに少し砂糖を入れて鹽梅した中へ其穴子を漬け置きます。五分か十分も經ちまして前の菠薐草を二三分位に蓮根をなるたけ薄く切ツて、穴子の漬けてある汁の中へ入れて混ぜるのでございます。あッさりとして一寸おいしくいたゞかれます。

(六九) 鶯漬　大阪市會員某報知

大根の根と葉と共に柔かなるを選び、莖と葉とを一寸許りに根を小さき薄き短册に切り、鹽と糠とにて積込み輕く壓石をかけるなり。是は常座漬なれば鹽もあまく糠も少々ふりかける位にてよし二日もたてば漬くべし、此漬物は東京にては大阪漬といふ由にて大阪の特殊品なるべしと思ふ。併し今日は各地に廣く行はれ、殆ど特殊とはいふべからざるが如し。されども東京杯にて普通行はるゝは單に鹽壓とするに止まり。糠をふる事は行はれざる由、單に鹽壓としたるにては漬きてより二三日も經てば味ひ變れども、糠をふりおけば一週間位は變味の虞なし。根葉共に少く切りて、鹽をふりて十分に揉めば即座に用ゐるとをも得るなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◉評議員總會　來る十六日第三水曜日、午後一時より、九段上偕行社内に於て、評議員總會を開き、來年の豫算等を議し、本年の納會を爲す筈なり。

◉有功章贈與　左の人々は本會へ金品を寄贈せられ又は功勞あるにより、總裁殿下より有功章を賜はりたり

七寶銀色製有功章　石川　米谷舞香子

右金品寄附により贈與

七寶銀色製有功章　神奈川縣支部幹事　原田千世子
同　曾根類子
同　北村暢子
同　新山つた子
同　國松汐子
同　吉田淺子
同　白根奈美子
同　松尾政子
同　荒木京子
同　樋口かん子
同　齋藤ふし子
同　木村泰子
同　中山愛子
同　荒井万子
同　石川きく子
同　田中よね子
同　田沼成子
同　宮島つね子
同　大谷榮子
同　工藤錦子
神奈川縣支部　福田助次郎

以上功勞により贈與

◉富山縣支部の景況　富山縣支部下新川郡幹事の發企にて、會務擴張及會員の親交を温むるの目的にて、十一月十五日同郡魚津町に於て、同郡會員總集會を開催せり、今其次第を記さんに、富山支部よりは李家幹事長始め、久保警部長御母堂等出席せられ、總會席上にては、李家幹事長は、本會の旨趣及び、會員募集上に付き、告辭演説あり、次に新任幹事の囑託書を授與し、來賓として郡長町長等の演説あり、來會者は二百名、非常なる盛會なりし。尚同支部には、追々各郡に於ても、斯の如き會合を催し、會の擴張を計るよし。

◉秋田縣支部の景況　同支部に於ては、十一月廿四日午後一時より、師範學校附屬小學校内に於て、臨時幹事會を開きたるよしなるが、當日の來會者數十名、幹事長の挨拶、事務員の會務報告あり、尋て各幹事は會務の擴張、會費收支に就き、協議を遂げ、後ち講話ありて、散會したるは午後五時なりし。

◉長野縣支部の景況　十一月二十二日埴科郡屋代町屋代高等小學校に於て、埴科郡會員總集會を開く。午前十一時一同着席するや、評議員兼幹事たる色部類子氏開會の主旨を陳べ、夫れより事務の報告あり、來賓として横田副幹事長の祝辭郡長濱音之助氏、色部貴族院議員の演説、眞田幹事の答辭あり。一時休憩、別室にて茶菓及午餐の饗應あり、一時より再び開會、立川雲平氏の講話等あり、午後三時閉會せり。本日來會せし會員は百二十一名の出席あり、非常なる盛會なりし。尚同郡は、同縣下中最も狹少なる區域なるにも拘はらず、縣下第一の多數會員を有する土地なりと云ふ。

◉三重縣支部の景況　十月廿九日桑名郡に於て、會員總會を開き、幹事長古莊志織子、副幹事長大野信子、幹事杉村こま子、同太田よね子氏等本部より出張し、第一會務の報告、第二規則改正の審議、第三三井利三郎氏に有功章授與式、第四幹事長告辭、第五高等女學校長藤井長藏氏及神官石垣効氏の講話あり、午後四時閉會せしが、來會者九十名餘ありたり。次に飯南郡に於ても、十一月廿二日第一回會員總會を開催す。今其次第を記さんに、第一幹事小愛つし子の挨拶、郡長小松氏の演説、幹事長古莊志織子氏の告辭、高等女學校長藤井長藏氏、第四師團副官阿久大尉の講話等あり。次に有志婦人の三曲合奏數番あり、午後四時閉會せしが、來會者は本部より副幹事長始め、會員六十餘名來會せられたり。

◉幹事の囑托　今般左の方々は、總裁殿下の允下を得て會長より幹事を囑托せられたり。

靜岡支部の部

原田芳　伊勢智齊　安河内すみ　篠原みつ　尾崎とく　井上れつ
石川學　角谷駒嘉　清水しか　征原しせん　山元せん　遠田さえ
新井キサ　岡本しほ　川田兎美衛　星野いさ　小林さち　法月チエ
近藤鈴　山梨かう　安達はな　伊東すゝ
田、中ふみ　甲賀美れ　大石あい　杉山いつ
影山メケ　新岡韻　荻原すみ　駅主れい

岡山支部

石本屋子　佐野茂子　野上八重子
土肥原かれ子　鈴木金子　並河てい子
大谷サキ子　瓜生留子

神奈川支部

水上みわ子　相原うの子　北野粂子　中村やえ子　太田龜子
富田とり子　金子トメ子　田村アキ子　大賀アキ子
篠崎米子　石井フウ子　鈴木ベン子　内田スガ子

石川支部

淺岡外喜尾子　寺本とく子
曉島ふさ子　渥美愛子
新田暉子

兵庫支部

永井兼子　田村錦子　三輪保子

◎愛國婦人會會員現在數表　三十六年九月末日調

支部名	特別會員	通常會員	計
北海道	二八六	七四〇	一、〇二六
東京	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京都	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神奈川	[illegible]	[illegible]	[illegible]
兵庫	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新潟	[illegible]	[illegible]	[illegible]
埼玉	[illegible]	[illegible]	[illegible]
群馬	[illegible]	[illegible]	[illegible]
千葉	[illegible]	[illegible]	[illegible]
茨城	[illegible]	[illegible]	[illegible]
栃木	[illegible]	[illegible]	[illegible]
奈良	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重	[illegible]	[illegible]	[illegible]
愛知	[illegible]	[illegible]	[illegible]
靜岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山梨	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滋賀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岐阜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長野	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宮城	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福島	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩手	[illegible]	[illegible]	[illegible]
青森	[illegible]	[illegible]	[illegible]

支部名	特別會員	通常會員	計
山形	[illegible]	[illegible]	[illegible]
秋田	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福井	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石川	[illegible]	[illegible]	[illegible]
富山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鳥取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
島根	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岡山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
廣島	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山口	[illegible]	[illegible]	[illegible]
和歌山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
徳島	[illegible]	[illegible]	[illegible]
香川	[illegible]	[illegible]	[illegible]
愛媛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高知	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大分	[illegible]	[illegible]	[illegible]
佐賀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
熊本	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宮崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鹿兒島	[illegible]	[illegible]	[illegible]
沖繩	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺灣	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海外	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

備考、京都、神奈川、長崎、新潟、埼玉、奈良、山梨、宮城、青森、福井、島根、岡山、は月報未濟につき八月末日調の分なり尚東京、和歌山、佐賀は同上理由につき五月末日調を掲ぐ。

◎奥村刀自遊説日誌

十一月六日　若狹國小濱町を出立し、九里餘腕車に乘り、滋賀縣高島郡今津に出て、夫れより湖水を渡り、大津市に着し、小林亭に止宿す。

十一月七日　大津發、京都支部着後屋に投宿。大森幹事長以下の訪問を受け、支部内巡回日割を定む。

十一月八日　知事及書記官を訪問し、書記官邸に於て、幹事會を開き、巡回の手筈を定む。

十一月九日　三井副幹事長及び、八田幹事を訪問す。

十一月十日　大森幹事長伊澤幹事入田一精氏等と共に、葛野郡嵯峨に至り、廣隆寺に於て開會、傍聽者數十名ありたり。

十一月十一日　京都市内下立賣堀通り小河角滋野校に於て開會、傍聽者約百五十名、三井西澤兩副幹事長以下盡力せらる。

十一月十二日　二條驛發、西澤副幹事長以下十名の幹事と共に、南桑田郡龜岡町に出張す。午後二時より高等小學校に於て開會す、傍聽者二百名、入田一精氏の賛成演説あり、午後五時閉會入會者十餘名あり。

十一月十三日　市内河原町能樂堂に於て開會、傍聽者約一百名、大森幹事長以下出席斡旋せらる、即時入會者十二名、同日午後八時より京都看護婦學校付屬横川氏佛教會場に於て、開催せる佛教會へ臨み講話す。

十一月十四日　七條驛發、西澤副幹事長齋藤、伊澤、大槻三幹事と共に乙訓郡向日町に出張す、午後三時南眞經寺に於て開會、傍聽者約三百名ありたり。

十一月十五日　七條驛發、木下西澤兩副幹事長大槻入田二幹事と共に、相樂郡木津町に出張す、此地に於て集會されたる男女約五百名は、尚武義會郡匯總會にて、在郷軍人及び、新入營者及び、其家族の方々の集會なりしかば、刀自は熱心に忠愛の思想を鼓舞するの演説を爲せり。

十一月十六日　本日市會議事堂に於て、市教育會の總會に臨み、一時間餘の講話を爲せり。

十一月十七日　京都出發、大阪に向う、大森幹事長以下停車場まで見送らる。午前十時梅田驛着、鴻池土屋兩評議員等の出迎を受け、廣岡評議員邸に投ず、滯在中は同邸に宿泊する事と定む。午後二時より南地演舞場に於て開會、傍聽者約百餘名、高崎幹事長始め鴻池鶴原兩評議員各幹事出張援助せらる。

十一月十八日　博物場に於て開會、傍聽者約四百名、即時入會者十四名廣岡鶴原兩評議員始め、各幹事出席盡力せらる。

十一月十九日　中ノ島公會堂に於て開會、傍聽者百餘名、即日入會者數名、前日の評議員方等しく盡力せらる。

十一月二十日　北新地遊廓事務所に於て開會、高崎幹事長以下出席盡力せらる、傍聽者約百餘名即時入會數名。

十一月廿一日　疑上通り二丁目常源寺に於て開會、傍聽者約百五十名、入會者十名、高崎幹事長廣岡評議員始め幹事方盡力せらる。午後七時より汎愛尋常小學校に於て開催せる。家庭教育講話會に出席、講話せり。

十一月廿二日　大谷派難波別院に於て開會、來聽者約四百名、即時入會三十三名、來會者多數にて、入會申込者の受付は、鴻池廣岡兩評議員を始め、鴻池新十郎夫人等自から其任に當られたり。

十一月廿三日　四區新町演舞場に於て開會、傍聽者約一百名、廣岡評議員始め、各幹事出席援助せらる。

十一月廿四日　南區清水町瑞坊に於て開會、傍聽者二百餘名、即時入會者二十五名、前日の如く、幹事方周旋せらる。

十一月廿五日　陸軍部内の催に依り偕行社に於て、午後一時より開會、傍聽者は小川師團長夫人、四島旅團長夫人を始め、各將校夫人四五十名餘、藤本參謀長等、斡旋せらる、午後六時より南區西清水町佛教會堂に於て開會、傍聽者三百五十名、即時入會三十名。

十一月廿六日　東區島町一丁目北大江學校に於て母姉會總會より招待を受け、廣岡土居兩評議員等と共に出席講話す、傍聽者約七百名ありたり。本日にて當支部講話を打切り、廣島支部に向う筈なり。

十一月廿七日　午前八時梅田發、午後五時廣島に着き、上田、一瀬、矢野、税所、の四評議員、總久幹事長、三橋、新要、小島、伊村、渡邊、伴、大久保、三迫、永島、温田、有末、三浦、保田、の各幹事出迎られ、三浦幹事邸に泊す。

十一月廿八日　廣島市偕行社に於て開會す、傍聽者二百餘名、山口、一瀬、長岡、矢野、藤田、税所、上田の七評議員、總久幹事長以下、幹事二十七名出席、斡旋せらる、入會者十數名ありたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世論一斑

●男女交際論　雜誌「靑年界」の記者に對し、各名家のものされたるものなり。

▲井口あぐり女史　米國で十八九歳位の者の交際は、一言で言へば、自由なる交際が許されて居る。其自由と言ふ中に、自から規律がある、猥りがましい事は出來ない様に、又爲ない様になッて居る。長上の人は自分の娘、又は妹のために交際する男子の、人品を監察して、交際を許し、一度交際を許せば、一緒に手を携へて、公園を散歩するも一向構はない、其等の男女間は、實に親密で愉快さうに交際して居る。米國では自分の子供が、確かであると信したならば、別に制肘も加へぬ事になつて居る。

▲中島力造氏　自分が一番に安全であると思ふのは、先づ日本流で相當の媒介者を頼んで、年齡とか品性は何うであるかも問合せて、それでよいと云ふ時に、親の意見をも極めて、親が嚴重なる監督の下に、暫時の間直接に其若いものを交際さして、其間に相互に其氣質を知り、互に希望を知り合ふまで、其男女の交際をさせると云ふ事が必要であらうと思ふ。

▲嶋山春子夫人　既に結婚した男女でも、又未婚の男女でも相互に交際すると云ふことは、双方の利益で、自然の理にも適ッて居る。男子斗りの交際では、自然に秩序が亂れ、野卑に陥る、婦人が其中に加り、始めて品よくなる。さて兩性の交際の道を開いて行くには、交際して差支ない丈の資格を備へる必要がある。且相當の學識を得て、よく常識を備ふる事が必要である、斯くても若き男女は必ず相當の監督者と同伴する様にすべき事と考へる、交際するに叶ふ性格や、習慣を養ふには、家庭なり學校なりにて、十分の注意を要することと思ふ。

▲三輪田眞佐子女史　男女交際の問題は、大變に必要でありますが、さりとて實行の出來にくい問題である。男女の間に於ては、實行を試驗的にすると云ふ事は出來ませぬから、尙更困難である。實行方法として自分の考へては、第一社會の男女交際機關と云ふものを、個人的にせずして、團躰的にすると云ふことを希望する。音樂會、園遊會、夜會の如き公衆の目前での交際なれば、誰れに見られても非難される事はない。第二に家庭の父母が、男女間の交際を或點迄、助けて行くと云ふやうなことになッて來なければならぬと思ひます。來客に談話をさするとか、晩餐に娘に給仕をさすると云ふ様な事が必要であると思ふ。

▲文學博士加藤弘之氏　男女の交際は、單に交際と云ふそれのみならず、縁談と云ふことに就ての必要が最も急務であらうと思ふ。其方法は矢張り、團體と云ふやうなものについて交際する。教育會とか何々會とか云ふのに、男女共に出入して、段々に交際して行くと云ふ事がよからうと思ふ。家庭に入ると云ふ事は、一寸出來ないし、又さうすると弊が起ると思ふ。それについても、男には言語から臨んで行かなければならぬ、日本には藝者と云ふ悪るいものがあッて、男子同士でも使はぬ言葉も、此前で使ふから、自然女に對する無禮の言語を發することとなる。故に差當り學問上の社とか、音樂の事とか、歌の事とか、さう云ふ男女兩性に研究に叶ふ處の會を立てゝ、交際に便を與へたらよからうと思ふ。

▲阿部磯雄氏　私は二の點を述べたいと思ふ、其一は父母の監督の下に男女の交際する道を開いてやるので、例へば自分の家に男女の子供があると致して、何れも年頃になッたとすれば、或る時は男の子の友達を、五六人家に呼んで御馳走したり、遊戯したりして、其の間に女の子を一所に遊ばせると云ふ事である。今一つの法は、根本的に這入ッて來るのであるが、先づ學校教育に於て、男女交際の道を開くと云ふことが、適當のことと思ふ。私は小學校のみならず、中學校に於ても男女の混合教育を主張するものであります。混合教育は、或分の弊害があるとしても、多數の青年男女の幸福を計りたい爲めであります。共同に教育すれば、自然に禮儀を守る様な風を生し、疎暴なることも止み、卑しきことも自から愼しむ様になるに相違ありません。

▲下田次郎氏　男女交際に二種ありあります、精神上の交際と、肉躰上の交際であります。男女交際を恐ろしがると云ふのは、精神上の交際でなく、肉躰上の交際が怖いのであるが、併し、精神上の交際から受ける害も、恐るべきものであると思ふが、夫れは別として、要するに少さい時から、男女が交遊する機會を多くして、男女と云ふ事に成るべく肉體上の聯想を起させぬやうにして、他の性質上の想を起さすことが必要であろふ。夫れには共同教育なり、集會に男女が來るべく出席すると も必要であろふ、結婚したるもの丶間の交際には、最早肉體上の强迫は無いからして、主として其交際は精神上となり、精神上に於ては男女は良き友、善き忠告者、良き慰安者として、互に相接し、其利益を相互に受けるやうにせればならぬと思ふ。

雜報

●貴族院議長　公爵近衞篤麿氏は滿期且つ病氣の故を以て同院議長の地位を退かれ、公爵德川家達氏同院議長に任せらる。

●衆議院議長　故議長片岡健吉氏逝去につき、新に議長を撰擧せし結果、憲政本黨の河野廣中氏、同院議長に任せらる。

●議會の開院　第十九議會は、愈々本十日開院せられ、天皇陛下にも行幸の上、開院式を擧行せらるゝはずなり。

●政黨の提携　日本の二大政黨とも云ふべき、政友會、及憲政本黨は、互に相提携して政府に當る事となりしよしなるが、將來は合同して一大政黨となす傾向ありと云ふ。

●行政整理　行政を整理して、國家の費用を減せんとするは、朝野の希望する處なりしが、此程各省の官制を改正し、不用の局課の廢合を行ふたり。

●東京音樂學校　同校秋期演奏會は、去にし五日、六日の兩日、同校演奏堂に擧行したるか、兩日とも非常によく出來たるよし、

●大日本音樂會　女子新聞を經營しつゝある、中川愛氷氏の專ら司とれる大日本音樂會は、日本音樂の奬勵發達を謀る目的にて、組織せる會合なるが、去にし五日、午後一時より神田青年會館にて、忘年大演奏會を催したり。

●英國公使夫人の音樂會　公使、及夫人發企者となり、築地聖路加病院寄付のため、慈善音樂會を、去にし五日、同公使館にて開會せしよし。

●大日本婦人衛生會　去にし五日、東京女學館にて例會を開き、三宅博士、山田軍醫等の講話ありたるよし。

●東洋婦人會　其事業の一着手として、近日の內支那、其他東洋諸國より來遊せる、留學生の爲め、懇話會を催し、下田歌子女史も出席、一場の講話を爲す筈なりと云ふ。

●電車開通と婦人　品川上野間に三錢均一實行の結果、毎車殆んど滿員の札を掲ぐる有様にて、婦人子供は到底乘車なし得ず、且つ遠距離の乘車多きため、婦人子供に對し席を讓るものすらなく、不便尠なからずと云ふ。

●家庭の新遊技　近來各新聞社の催しにて、福引又は懸賞等大流行のすがたなるが、萬朝報は寶探しとて、公園其他公衆の集る可き場所へ、寶を埋め置き、紙上に謎をかけ、之を解き得たるものは、其場所に往き之を堀出す方法なるが、今之を家庭に應用し、家庭の寶探しなるもの始まれりと云ふ。其方法は、例令は「九」と云ふ謎を掛け置き、小供が「八の下」と解釋し、盆栽の鉢の下より寶を取出せし類にして、新年に至つては此方法、盛に流行するに至るべしと云ふ。

●幼年の新遊戲　淺草待乳山高等小學校の、小出副校長の考按になり、目今各小學校間に盛んに行はるゝに至りし新遊戲の方法を聞くに先づ子供を東西、或は南北に二分し、互に陣を對せしめ、各陣には少將、佐官、尉官、地雷火、工兵間者等の部署あり、各部署に相當する木札を一枚宛小供に持たせ、互に秘密に懐に藏して、何れが敵の大將やら、地雷火やら、相測ることを得ざる事となし、審査官の號令一たび下れば兩陣相肉薄して各敵の一人を捕へ、後双方木札を示し、その勝劣を決する方法にて、其札の階級は間者は誰れにも負けて、唯大將に勝ち、地雷火は工兵に負けて、大將以下に勝つ等にて極めて面白き仕組の物なりと云ふ。

●東京孤兒院　貴婦人の贊同により、昨年神田錦輝館に於て、二日間慈善會を催し、新築の基本金を募り好成績を得たる同院の新築事業は、愈々竣功し、府下赤阪區青山南町六丁目に、敷地四百坪、建坪百十四坪を得、院主は北川ハッ子氏、現在の孤兒は三歳より十七歳迄にて、男子十六人、女兒十四人を收容し、就中六七歳の者最も多く、晝は青山小學校に通學せしめ、夜は織物に爲すべき紙捻を作りつゝあり。

●慈善演藝會　高等師範學校教授本田增二郎氏の發企にて、熊本癩病院のため、來る十六七日頃、神田錦輝館に於て、川上一座の慈善演藝會を開き、「浮れ胡弓」等の興行を催す筈なり。

●水難救濟會の慈善演劇　同會の事業擴張の補助の爲め、去にし二日より十日間、東京座に於て、慈善演劇を興行したり。

●本郷兵事會の慈善演劇　本郷區兵事會、軍人軍族救恤のため、去にし五日より四日間、本郷座に於て慈善興行を爲したり。

●陸軍下士の妻子保護　現行法規によりては、現役の下士の妻子を保護する制度なかりしため、本會の事業の發達につれ、現役兵士の妻子保護方法も、追々着手すべき筈の處、今回陸軍省の諸官制改正の內、現役の下士卒にして、就學兒童あらば、之に相當の補助費の給與、及び妻子にして疾病に罹りたる場合には、衛戍病院に入院せしめ、無代價にて治療せしむるとゝなりたり。

●陸軍下士制度の改正　別項に記す如く、下士以下の妻子の保護にも改正を加へられたるが、今般の改正によれば、下士の給料等を增加し、又退官賜金の制度をも定め、五年間勤續のものには、六十圓十二年勤續のものには、五百圓下賜せらるゝ事となり、大に保護を加ふる事になりたり。

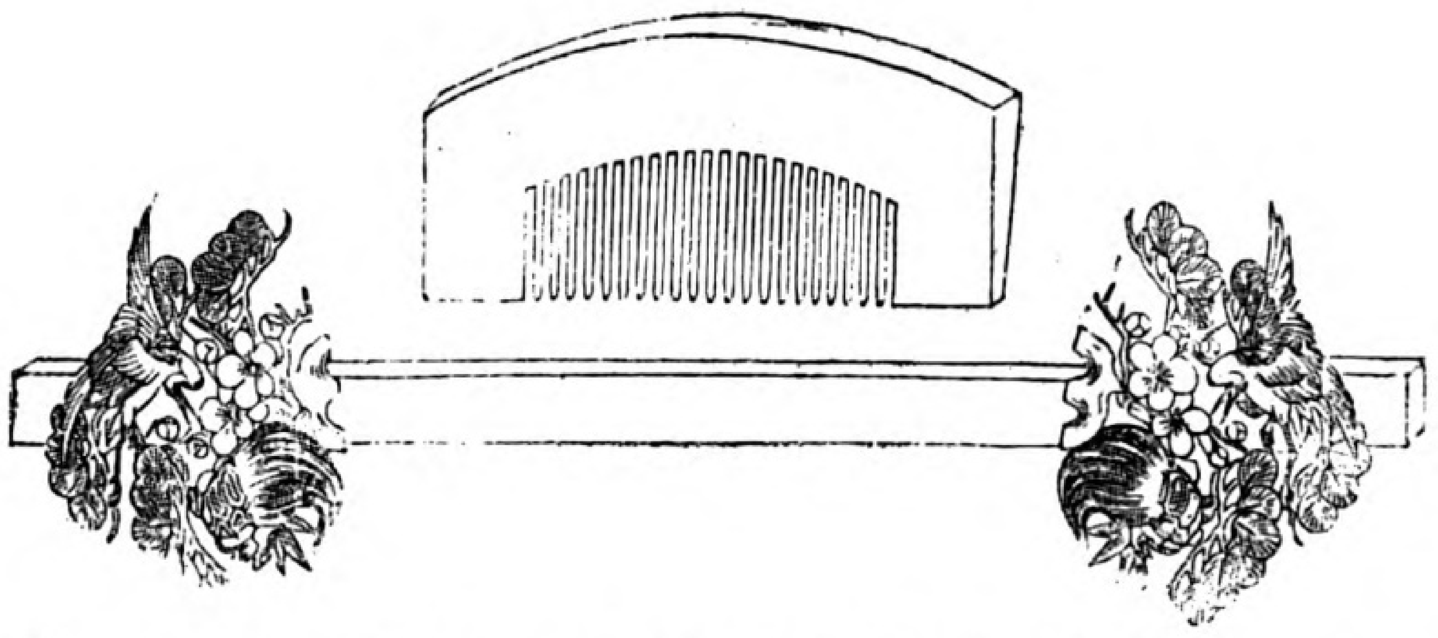
●篤志看護婦人會　同會の例會は、去にし四日赤十字社本部に於て開會、華頂宮、東伏見宮、梨本宮各妃殿下を始め、會長鍋島侯爵夫人以下、貴婦人五十餘名參集し、足立軍醫監等の講話ありたるよし。

●河原操女史の名譽　清國の女子教育の任を負ふて、いち早く清國の聘に應し、昨年五月より清國上海の城內に設けある、務本學堂の教師となり、熱心に教鞭を執りたる同女史は、一年間の傭聘期限なりしかば、本年五月にて滿期となり更に此程蒙古喀拉沁王の家庭教師としての招聘に應し、去月廿三日蒙古官吏の迎接と共に、上海を發し北行の途に就けりと云ふ、女史は下田歌子女史の門下生にして、年齡僅かに二十五歳才貌雙絶の聞えある人なりと云ふ。

●共立女子職業學校の光榮　此程の事とか、北條侍從は一つ橋なる同校に臨み、生徒の製品を叡覽に供すべき旨の御沙汰を傳へたりと云ふ、毎度ながら同校の光榮と云ふ可し。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

儀式用御櫛笄



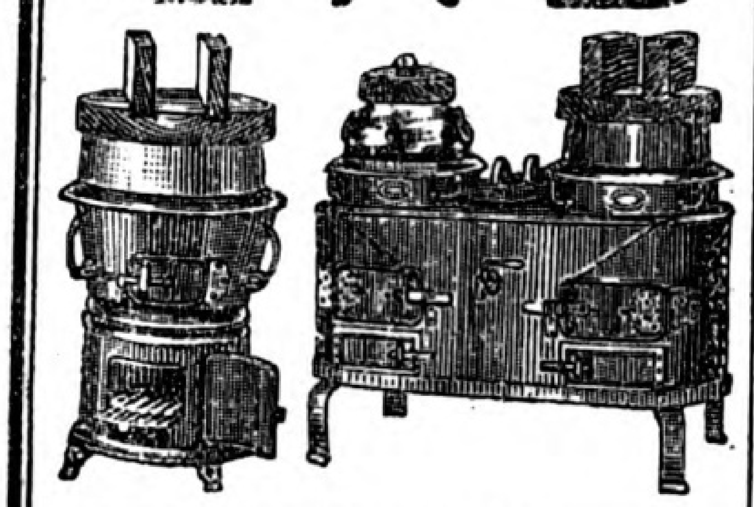
上圖櫛笄の材料は鼈甲を以て随一となせど鼈甲の中にも品質の佳からざる物少からず此品は鼈甲中の最良質を精選して良き工の手に成りたる物なれば透明にして狂を生ぜず浮を出さず幾久しく御道具となるべき逸品なり

○本甲製　一組價
二十五圓　三十五圓
五十圓　七十五圓
一百圓　百五十圓
二百圓　二百五十圓

○甲張製　一組價
十圓　十二圓　十五圓
十八圓　廿圓　廿五圓
三十圓　三十五圓

東京市京橋區尾張町
白牡丹本店
松田幸治郎
特電話新橋五五一番

第五回内國博覽會
三等賞牌受領
專賣特許
富貴竈



營業品一斑
アルミニューム製器具
洋食器具一式
室内暖爐各種
此外
上等鐵瓶湯沸銅鐵物類
説明書御一報次第進呈
發賣元
東京淺草區茅町淺草橋際
(電話下谷特一九二三)
阿部彦四郎商店

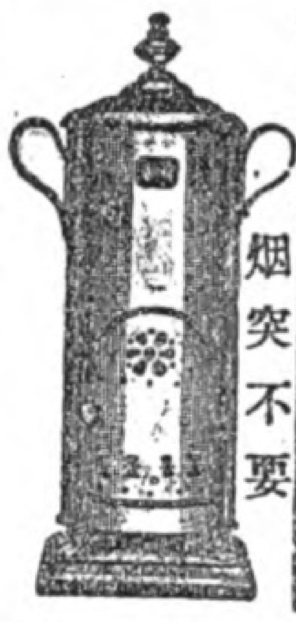
本店 東京日本橋區長谷川町貳番地
卸部 **美濃磯本店**
電話浪花二八五九
電略ミイソ

小賣部
本郷區本郷五丁目十五 電話下谷一四一五 美濃磯本郷支店
淺草區諏訪町廿貳 美濃磯淺草支店
芝區新櫻田町九番地 (美) 小田商店
牛込神樂坂町二丁目八 (内) 伊澤商店
四ツ谷傳馬町一丁目 (内) 伊澤支店

婦人最良藥

子宮病血の道 産前、産後の諸症に種々の藥を用ゐて其効なく久しく病床に苦しむ人は本劑を試みよ
●如何なる難病も二三週間に全治す

●詳しき効能は大廣告の時御注目ありたし
(定價 一日七錢五厘、三日廿錢、一週四十五錢 二週八十五錢、三廻り一圓二十五錢)
●本舖へ御注文の方は病人の容躰御申込あれ
本舖 東京日本橋通四丁目 津村順天堂
大阪堺筋鹽町北入 津村順天堂
中將湯は全國各藥店にあり



特長◉此暖爐ガ他式ニ優リ著ク有益ノ長所アルハ岩佐侍醫岡村醫學博士栗木醫學博士桐淵醫學博士足立軍醫盛川村大軍醫以下諸大方醫ガ御賞用アルニテ知ル可ク◉燒燃ヨリ起ル有害瓦斯ノ發生ヲ防止シ◉室内空氣ノ乾濕ヲ適度ニ自調シ◉小量ノ炭火ニテ永ク室内全體ヲ平均ニ快ク恰モ日光ニ温マルク温暖ニシ温度上昇自在ニ移動自在ニ火ノ用心極テ安全ニ形狀優美堅固等他ニ類無キ特長アルヲ以テ◉日本赤々字社東京府立病院宮城縣立病院以下各府縣立私立病院醫師方ヨリ他器ト比較試驗ノ上數個乃至十數個ヅヽ御賞用ノ所夥ク樞密院文部省外務省農科大學大審院一條公二條公九條公鷹司公嶋津公德川公同老公同侯山内侯大山侯蜂須賀侯以下八十余華族方及實業家ヨリ昨年末迄己ニ貳拾萬余ニ達シ大抵御試用後重テ御賞用好評ヲ受ク(委細ハ御照會ヲ乞フ)
◉正價荷造共 金六圓也
東京市麹町區隼町廿番地 **山本賣店**

●**水原産科婦人病院**
○所在神田區猿樂町十二番地(電話本局千七百〇九番)○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立産婆學校の設あり

院長 醫學博士 榊順次郎 每日午前診療
副院長 醫學士 久保徳太郎 每日夕刻診療
婦人科産科榊病院
東京麹町三番町卅三(電話番町三九五)

耳鼻咽喉科院
院長 ドクトル **山上兼輔**
診療毎日午前
四谷區本村町三十七番地
電話番町七三〇(士官學校前)

東京小兒科院
駿河臺西紅梅町(電話本局一九五五)
院長 醫學博士 **瀬川昌耆**

内外科泌尿生殖器科
醫學博士 佐藤進
醫學士 佐藤佐
同 佐藤恒久
同 佐藤達次郎
醫學博士 田中苗太郎
醫學士 阿久津三郎
醫學士 吉井明七
醫局員 菅野徹三郎
同 前田利雄
同 笠間大作
各科専門ノ醫士分擔シテ診療ニ從事ス
毎週月水金午後一時ヨリ貧困者ノ爲メ施療部ヲ設ク
本郷區湯島五丁目お茶ノ水
順天堂醫院
電話本局三六九番

◎◎◎最新療法◎◎◎
瘰癧 ○切開を要せず○して根治す
○心臟病 ○脚氣 專門
千葉内科院
神田區三崎町三の一 西通り二十五

◎本誌の目的は婦人をして常識に富み、世態にぜしめ通、以て婦人の人格を高めんとを期するに在り、されば、其所説、新に流れず、舊に泥まず、一宗一派に偏らず、而も世に阿りて、徒らに俗流の歡心を迎へず。◎本誌は、輕佻浮華の弊風を避けんが爲に、表紙口繪など、不要の裝飾を省きて、專ら記事の精選を努む。◎本誌に收錄する所は、普通婦人雜誌に掲載する文學上、家政上の記事のみに止めずして、●科學の大意を掲て、學理の概念を得しめ、●和漢洋名著の綱要を掲げて、諸書の渉獵に便せしめ、●法制理財等の事を平易にものして、世態に通ぜしむ。◎本誌は、野卑なる言語及び劣等なる戀愛文字を避け、下品なる廣告を掲げず。◎本誌は、勤儉貯蓄の美風を奬勵せん爲に、毎號慈善貯金切手を附して、其模範を示す。◎本誌讀者は、みやび會員となり、其歌、文を本會に送付して、名家の批評添削を受くることを得。

毎月一回十五日發行毎號紙數百四十頁
定價拾五錢全國無遞送料
發行所 麹町區下二番町三十七番地 **大日本女學會**

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店

◎東京堂　神田區表神保町三番地

◎東海堂　京橋區銀座四丁目

◉第五回博覽會受賞品陳列會

陳列場增築落成候間十二月一日より明年一月二十日迄第五回勸業博覽會に於て全國織物出品中名譽賞牌及第一二等賞を受領せし品を普く蒐集陳列致し出品當時の賣價より格外の廉價を以て貴需に應ずべく候得者開場當日より御誘合ひ御高覽被下度奉願候

尙々歲暮御進物用及御仕着衣類の格安品よせぎれ見切反物等は澤山取揃有之候

松まつや

東京神田今川橋

電話本局六百八十八番 七百四十七番

帝國貯蓄銀行

銀座一丁目河岸通り入 新橋電話一一七八番

本郷支店 本郷一丁目

飯倉支店 飯倉片町

赤坂支店 赤坂一ツ木

四谷支店 四谷大通り

品川支店 南品川一丁目

横濱支店 横濱吉田町

神樂坂支店 牛込神樂坂

須田町支店 神田須田町

米澤町支店 兩國米澤町

吾妻橋支店 淺草雷門

代理店 田中銀行 日本橋坂本町

●一錢以上何程にても御預り致し御便利に取扱申候

●預金利息は毎月五日迄の御預け金は其月分の利子を付け申候

麝香獸印

ムスク香水

本石町四 芳香藥種問屋 松澤商店

從四日年末中 だらく大賣出 景品進呈

半ゑり帶上 類 勅題模樣岩上の松

優等縮緬組合せ半ゑり大見切 帶揚其外見切

新製まげ入紀念形 賣始め すゞめ形ゑり治形

新橋竹川町十二番地 電話新二〇二七

ゑり治商店

壽美花おしろい

ヴワイヲレツト製

伊勢壽吉製

定價 大瓶二十錢 小瓶十二錢 大中瓶二十五錢 中小瓶十五錢

壽美花あらひ粉

西洋色白くする洗劑

東京兩國 伊勢壽吉

定價綠藍紅彩蝶番ひ罐詰六錢五厘ホックス入三錢袋入壹錢

婦人ふるちの藥

定價一貼五錢三貼十四錢五貼廿三錢七貼三十二錢

一此藥劑は婦人血の道一切の藥にして淸血を補ひ古血をめぐらすとかんようにして少しも脾胃にさわるとなく血を下すにてはなく血をみちびき通ずる藥なり第一月々めぐり少き婦人はたっぷりと見るなり數年古血滯りある婦人は其のふるちのかたまり殘らずつうずるなり●○南まけづつう目まひにより〇ふるちとゝこほり〇ながち〇しらち〇手あしゝびれ〇〇血しやく〇ひゑるときさしこみいたむに功あり〇むねこしいたみ〇つぎむしによしいた〇さんごあとはらのいたみはいかほどつよきいたこにても一ト包にて功あり〇さんごわるちのとどこほりに用ひて功あり〇猶能書にくわしくしるす

東京市本所區東兩國横網町一丁目

本家製藥所 伊勢吉本店

齒磨店

（電話浪花二一七五八）

全國各學校徽章賞牌ハ弊店ノ獨專業ニ有之候 價格表ハ御報次第呈送ス

日本帝國徽章商會

東京市麴町區飯田町三丁目

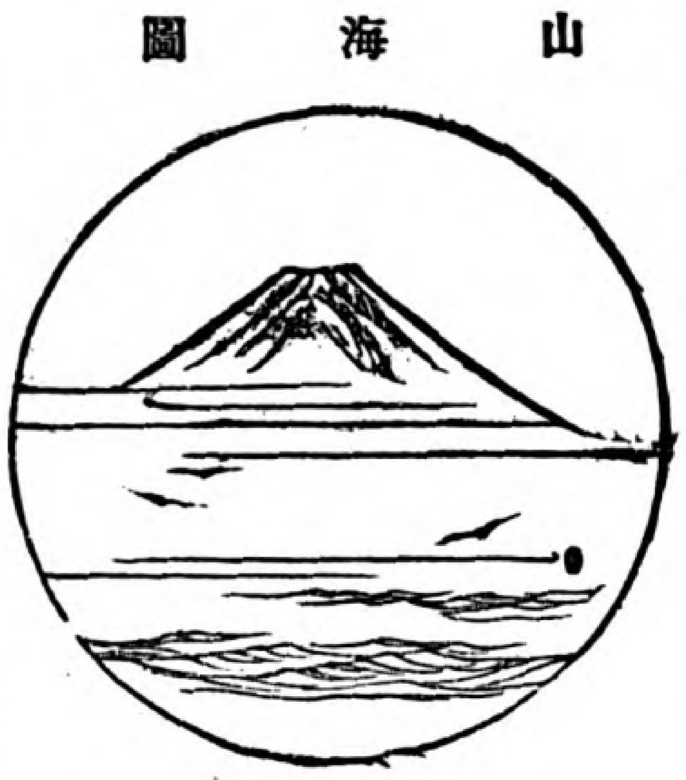
電話番町八百五十七番

盃類圖案一班

（金、銀、輕白金、白銅、安賀毋尼杯及木盃製作應用）

●玉田先生畫

山海圖



功勞ノモ大ル賞遊ス

勞影最洪ナ況ニ用

時計寶玉類貴金屬美術品及各種銃砲火藥商

東京市京橋區尾町張二丁目十六、十七、十八、十九番地

天賞堂

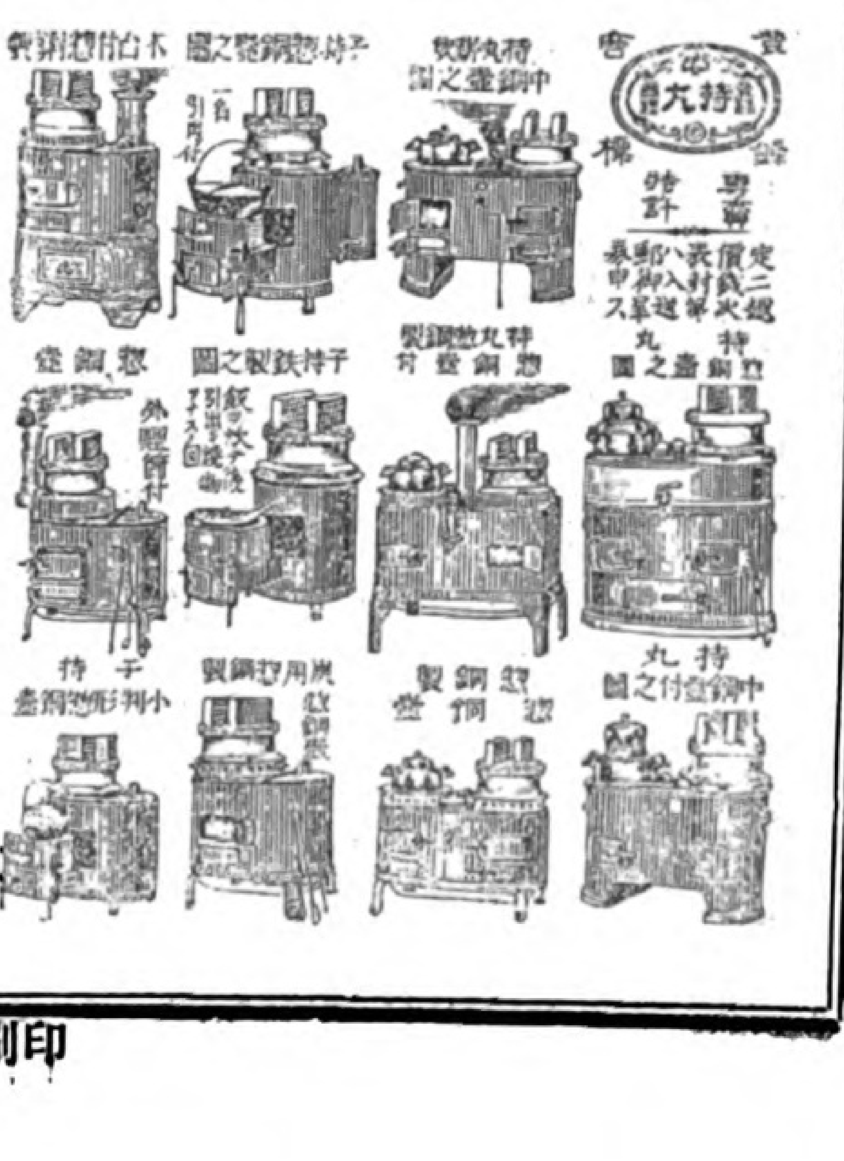
（特電話新橋三三三）

天賞堂出張所々在地

●東京市神田●長崎臨時●名古屋臨時●大坂市●廣嶋市●熊本臨時●長崎卅●小樽臨時

無料贈呈　天賞堂營業一覽（送貨四錢）

專賣特許竈



日本橋區蠣殼町二丁目

（電話浪花壹壹七七番）

製造發賣元

名和商店

神田區松永町十八

和泉橋通

名和支店

正四位勳三等醫學博士 三宅秀先生著

大日本女學會發行

（日本女子大學校教科書）

家事衛生

總クロース綴ぢ金文字入り菊判二百四十頁

定價金六十錢 郵稅金六錢

此書は文部省學校衛生顧問内務省中央衛生會委員元醫科大學部長なる三宅博士が文部省の囑托により講義されたるものなり書中に衣服食物住居育兒看病の五編ありて我國一般の民度に應じ何れの家にても實行に差支なき樣懇切に說示されたる世に類なき家庭主宰者の寶典なり

●賣捌所

東京神田區一橋通町七

有斐閣

愛國婦人を女學並に廣義講告取扱

神田區千代田町　博報堂　電話本局一四四番

京橋區尾張町　弘報堂　電話新橋八五二番

京橋區南鍛冶町八　一星社

日本橋區上槇町　萬年社　電話本局一一一五

明治三十六年十二月十日發行（毎月十日廿五日二回）

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　大日本女學會內

印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

愛國婦人第四十三號附錄

帝國圖書館 IMPERIAL LIBRARY

鹿兒島縣支部副幹事長
男爵世嗣夫人島津鶴子

鹿兒島縣支部幹事
坂元陸軍少將夫人坂元梅野子

石川縣支部幹事
永田石川縣警部長永田夫人キラ子

明治三十六年十二月十日發行（毎月十日廿五日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 手島益雄　發行所 大日本女學會內愛國婦人發行所
印刷所 東京市牛込區市ケ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

總　裁　小松宮頼子殿下

副總裁　鍋嶋侯爵夫人

推戴賛成員

有栖川宮大妃董子殿下
東伏見宮妃周子殿下
華頂宮妃經子殿下
梨本宮妃伊都子殿下

其他賛成員貴婦人一百餘名

大日本女學會

新學期を開き何人にても入會を許す

◎本會は女子教育の普及發達を圖らむ爲に女子必須の諸學科を掲けたる女學の講義録を發行し種々の障碍の爲に女學校に入學すると能はざる女子に居ながら修養を積ましめ以て一般女子の地位を高めん事を目的とす

◎本會發行の女學講義は畏くも　皇后宮の御覽を辱うし殊に御歌下賜の光榮を擔ふ

◎本會は第一流の名家をすぐりて講義を囑託し其講義有益にして趣味に富めるは既に世の定評ある所にして明治二十八年創立以來已に貳萬五千人の講習修了者を出せり

◎女子素養の程度に應ぜん爲講義録を高等と簡易との二種に別つ月謝は高等科金四拾錢簡易科金貳拾錢とし入會の節束脩（高等科四拾錢簡易科貳拾錢）を要す

◎女學講義初桊前期は十一月五日に後期は同廿五日に發行せり詳細なる會則希望者は端書にて請求あり次第送呈すべし

東京市麹町區下二番町卅七番地

大日本女學會

（電話番町千三百三十番）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN